

障害者グループホームの 入居希望者情報一元化について

川崎市議会議員 矢沢たかお

川崎市議会第2回定例会が5月31日から6月25日まで開会しました。今回は一般質問で取り上げた中から「障害者グループホームの入居希望者情報の一元化」についてご報告いたします。

本市は市制100周年ループホーム定員数や施の今年、人口155万人設を計画的に増やしてい突破しました。身体・ます。令和6年4月1日精神・知的、各障害者手現在、事業所数は12帳取得者数は、令和5年0、利用者数が17054月時点で6万5582人となっています。

人まで増加する中、本市は補助制度を設け、グ

待機者数の把握



矢沢たかお
 ●川崎市宮前区初山生まれ(38歳)
 菅生小、菅生中卒 / 法政大学
 第二高等学校卒 / 法政大学情
 報科学部卒 / 商社系IT企業
 2023年4月3期目当選
 宮前区初山1-20-12
 Tel044-976-2727
 矢沢たかお 様

本市は毎年度100床ずつ増やし、令和8年度までに1946人が利用できるように目標を掲げています。しかし、グループホーム待機者数について、本市は事業者と利用者による直接契約となることなどを理由に、正確な情報を把握していません。現状のグループホーム定員数に対して多いのか少ないのかという判断に必要なのは、本来、グループホームへの入居を希望しているのにも関わらず、入居が来ない方々が何人いるのかという待機者数を把握することです。

その解決策として、グよって差が生じてしまうループホーム入居希望者現状の仕組みは最適とは情報の一元化を提案。現言えないと考えます。施状の入居手続きは、入居設側からは、逆に入居希望する方からの相談望者がいない、計画数値を区役所または障害者相と現場にギャップがある談支援センターが受け、のではといった話も聞いています。入居申込情報入居に係る要望や障害特性等を把握します。そのを一元化できれば、希望後、区役所等がホームの者に対して施設側から入居に関する連絡が来る合、入居の可能性があれば「三方よし」の仕組みとば体験利用を実施し、なります。健康福祉局長ホームが受け入れ可能とからは「待機者数の把握判断した場合に入居するは重要。現計画の最終年度となる令和8年度を目標

三方よしの仕組み

途に情報集約していく」という前向きな答弁をいただきました。

増え続ける利用者や施設情報に対して、入居調整する職員が、それぞれ最新のステータスを把握し、最適なマッチングを行うには限界がありま



一般質問の様子

担当者側の力量に